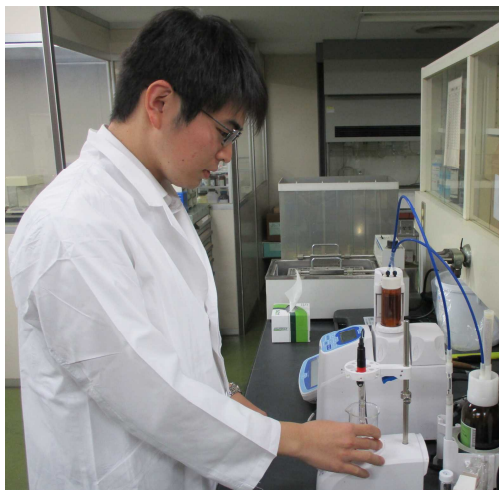


<試験の区分（化学）>

門司税関 業務部統括分析官部門 令和5年度採用



【1日の仕事の流れ】

8:30 出勤

メールの確認。その日の業務について上司と話し合います。必要であれば機器の立ち上げ等の準備を行います。

9:00 分析業務

現場から依頼のあった貨物を分析します。食品の分析が多いですが、不正薬物などの鑑定業務は、急を要するため優先的に処理します。貨物によっては午前中、測定試料の調製だけで終わる場合もあります。

12:15 昼休み

自席で食べることが多いです。ゆっくり過ごして、休息をとります。

13:00 分析業務

引き続き、分析業務を行います。余裕があれば、片付けや、報告書の作成の準備をします。

15:30 報告書作成、片付け

分析が終わったら、データ整理等を行い、分析結果を報告書にまとめます。上司の確認後、分析を依頼した部門へ結果の報告を行います。その後、使用した器具の片付けを行います。

17:00 退庁

急ぎの案件がないときは定時に帰ります。基本的に、自分の時間を確保しやすい職場だと思います。

① 現在はどのような仕事をされていますか？

門司税関分析部門の業務は、大きく分けて2つあります。

1つ目は不正薬物等の鑑定業務です。海外から持ち込まれたものが、法律で規制されている不正薬物かどうかを分析により鑑定します。

2つ目は輸入貨物の関税率を決定するための分析業務です。輸入申告される貨物の中には、同じ貨物でも、成分やその濃度で関税率が異なるものがあります。正しい関税率を決定するために、化学的に分析を行います。

② 大学で専攻したことがどのように生かされていますか？

大学では、水産（主に食品）を専攻していました。税関の業務とは無関係に思われるかもしれませんが、現在使用している実験器具や分析機器の扱い方に共通することも多いため、学んできたことが生かされていると感じます。

また、水産物や化学品の関税率を検討することにも学生時代の知識が生かされています。

③ どのような仕事が印象に残っていますか？

大麻成分の含有が疑われる物品の鑑定業務が印象に残っています。大麻含有製品の分析はうまくいかないこともあります。上司と相談し合い、やり遂げた時には達成感と同時に、税関職員として社会に貢献することができたと強く感じます。

④ 国家公務員志望者へのメッセージをお願いします！

税関には幅広い職種があるため、今までの自分の経験がどこかで役に立つはずです！その経験を税関業務に生かしてみませんか。